

～ともに創ろう！ 笑顔あふれるまち駒ヶ根～

## 平成 28 年度市の予算と主な事業

人口減少・少子化を克服し、新たな飛躍を目指す  
「総合戦略実行予算」

### ○予算額

平成28年度 当初予算		前年度比較	
		増加額	増加率
一般会計	160億 7,300万円	7,800万円	0.5%
特別会計(10会計)	109億 1,945万円	3億 3,443万円	3.2%
合計	269億 9,245万円	4億 1,243万円	1.6%

※上記のほか、H27補正予算に前倒したH28一体予算＝2億 200万円  
(地方創生加速化事業9,200万円、年金生活者等福祉給付金1億1,000万円)

### <ポイント>

- ①一般会計当初予算額は3年連続増加し、過去最大規模の積極型
- ②少子化対策・子育て支援、産業活性化、交流人口増、健康長寿推進、都市基盤整備など地方創生を加速して推進する事業に重点配分
- ③公共施設の更新・長寿命化・耐震化対策、身近なインフラ整備を計画的・着実に推進
- ④借入金（建設債）の残高は2億3000万円減少、年間の返済金は1億円余減少し、財政健全化を推進

### ○主な事業（新規・拡充事業を中心に掲載）

#### 【1】活力あふれる産業のまちづくり

##### ①地域資源を活かした農林業の振興

- 1【拡充】新商品の開発・ブランド化、販路開拓など6次産業化を支援 580万円
- 2【継続】農業多面的機能支払・中山間地域農業直接支払 1億6,645万円
- 3【継続】農業基盤整備の推進（宮の前地区、北原地区） 3,037万円

- 4【継続】森林・林道整備（林道古城線、天白高鳥線、市有林境界明確化ほか）  
4,410万円

### ②魅力と賑わいのある商業、次世代につながるものづくり産業の振興

- 5【新規】サテライトオフィスを活用したテレワーク推進事業 723万円  
6【新規】次世代を担う新製品や新技術の開発支援 500万円  
7【継続】新製品の販路拡大支援 600万円  
8【継続】小規模事業者の活性化支援 100万円  
9【継続】まちなかの賑わいを創出する商店街の取り組みや空き店舗活用  
の創業支援 857万円  
10【継続】企業誘致の推進 1,208万円

### ③おもてなしと賑わいのある観光の振興

- 11【拡充】中央アルプス山麓開発計画の具体化に向けた検討・調査 955万円  
（大使村構想、健康の森構想、子育ての森構想ほか）  
12【新規】中央アルプスジオパーク構想の推進 1,300万円  
（ジオパーク基本構想、中核施設整備計画、モニターツアー企画ほか）  
13【拡充】山岳高原を活かした世界水準の観光地づくり 1,218万円  
（観光協会やJRと連携した誘客活動、インバウンド、案内板等の整備ほか）  
14【新規】信州シルクロードを核とした広域観光連携事業 1,706万円  
（シルクミュージアムの多国語対応、外国人観光客の体験型観光対応ほか）  
15【拡充】観光プロモーションの推進 795万円  
（フットパス、幸せの森整備、山コン、こまかっぱ活用ほか）

## 【2】子どもたちが夢と希望にあふれるまちづくり

### ①生きる力を育む学校教育

- 16【継続】学力向上・学校生活支援に向けた体制の強化 7,025万円  
（学力向上指導主事1人、専科教員4人、外国語指導助手2人、学校支援  
ボランティア3,000時間、特別教育支援員10人、中間教室適応  
指導員2人、子どもと親の相談員2人、生徒相談員4人ほか）  
17【継続】小学生の読み書きのつまずき早期支援事業 267万円  
18【拡充】地域ぐるみで特色を生かした学校運営を推進するコミュニティー  
スクールの推進 60万円  
19【新規】各学校の教育目標の達成に向けた校長裁量予算 150万円  
（小学校20万円、中学校25万円）  
20【拡充】学校施設の安全対策の推進 3,820万円  
（中沢小学校体育館吊り天井耐震対策、東中学校特別教室棟設計）

## ②健やかな育ちを支える幼児教育

- 21【拡充】保育料の引下げによる負担軽減と育児・仕事の両立支援  
(軽減拡大額) 797 万円
- (1)未満児保育料を9月から引下げ(253万円)  
現行月額26,800円~53,700円の所得階層について、2,500円~12,700円引下げ
- (2)多子世帯・ひとり親世帯の保育料を4月から引下げ(544万円)  
年収360万円未満の多子世帯について、第2子は半額、第3子以降は無料化  
年収360万円未満のひとり親世帯について、第1子は半額、第2子以降は無料化
- 22【継続】経塚保育園・子育て世代活動支援センターの建設 7億9,200万円  
平成28年8月竣工、10月開園予定 (H28=3億626万円)
- 23【拡充】自然と触れ合う外遊びの機会を充実する「駒ヶ根版自然保育」の推進  
98万円

## ③安心して産み育てることができる環境づくり

- 24【拡充】家庭で保育ができないときの「一時預かり事業」を充実 712万円  
(従来、生後8ヶ月以後を対象としていた年齢制限を廃止し、8ヶ月前の乳児まで対象を拡大)
- 25【継続】病気の治療中・回復期の児童を医療機関で預かる「病児保育事業」の実施 800万円
- 26【拡充】妊娠から幼児期までを切れ目なく支援する「駒ヶ根版ネウボラ」の充実 555万円  
(不妊治療費助成事業の拡大、産後ケア事業の拡大、新生児訪問事業の実施ほか)
- 27【新規】結婚・子育てを応援するスマートフォン用アプリ「こまっぷ」による情報提供を開始 60万円  
(結婚・出会い支援情報、検診・予防接種情報、子どもの成長記録・健康管理など)

## 【3】災害に強い安全・安心のまちづくり

### ①災害に強いまちづくり

- 28【拡充】雨量計による監視や専門機関からの気象情報入手により危機管理体制を強化 1,527万円  
(雨量計システム運用、民間防災支援サービス活用、衛星防災無線設備更新、計画的備蓄ほか)
- 29【拡充】地域における防災体制の充実 626万円  
(「防災士」資格取得補助15人分、消防団装備充実(H28=2分団1号福岡))

### ②安心に暮らせるまちづくり

- 30【継続】地域防犯灯整備補助・東中学校通学路防犯灯設置 500万円

31【継続】振り込め詐欺・架空請求、消費者トラブルの相談窓口  
「消費生活センター」の運営

331 万円

#### 【4】豊かな自然を守り、快適に暮らせるまちづくり

##### ①快適な生活環境・高速交通網を見据えた都市基盤整備

32【継続】身近な道路・橋の整備

5 億 4,380 万円

区分	予算額	主な予定箇所
道路改良 維持修繕	3 億 890 万円	光前寺南線（柏木）、南割町線（八幡原）、中割縦線（中割）、1-188 号線（十二天の森）、1-256 線（辻沢）、小鍛冶線（小町屋）、1-959 号線（赤穂東小）、上穂本線（五十鈴町）、郷社線（田沢）、下街道本線（北下平）、本曾倉線、中曾倉二越線（香花社）、菅沼線（中沢小）、3-173 号線（伊那耕地）、3-135 号線（細田北）ほか
舗装	1 億 2,120 万円	新春日街道線（広域農道）、南割縦線（南割）、光前寺南線（北割）、菅の台線（光前寺前）、町東縦線（経塚）、1-446 号線（北町）、2-18 号線（前河原）、2-195 号線（吉瀬）、3-36 号線（塩田）、舗装長寿命化修繕計画調査（市内一円）ほか
安全施設（歩道設置等）	5,080 万円	馬見塚線（大徳原）、1-959 号線（赤穂東小）、文化会館前ほか
橋の 長寿命化	6,290 万円	大田原橋、吉瀬橋、橋梁点検ほか

33【継続】リニアや三遠南信道など高速交通網の拡大を見据えた  
都市基盤整備

6 億 5,500 万円

(1) 都市計画街路中割経塚線（H24～H29 総事業費 10 億 6,250 万円）

H28=5 億円

(2) 駒ヶ岳スマート I C アクセス道路（H24～H30 総事業費 2 億 9,400 万円）

H28=1 億 5,500 万円

34【継続】上水道・下水道整備（菅の台、北の原、宮の前、伊南 B P 関連ほか）

5 億 6,445 万円

35【継続】公園の長寿命化（すずらん公園遊水施設ほか）

5,600 万円

36【新規】駒ヶ根駅前広場再整備設計

1,000 万円

37【継続】市営住宅経塚団地移転建替え

3 億 4,593 万円

3 階建 1 棟 21 戸、平成 29 年 1 月入居開始予定

（H27～28 総事業費 5 億 2,500 万円）

38【新規】空家対策基礎調査	400万円
39【継続】地籍調査の推進（南下平、北下平）	2,984万円
40【継続】地域公共交通事業 （こまタク、割引タクシー券、福祉タクシー券）	3,614万円

## ②豊かな自然環境の保全、次世代に伝える景観の創出

41【拡充】自然エネルギーの利用を促進する「えがおポイント」交付事業 （省エネ機器への買い替え、省エネ診断実施、グリーンカーテン 設置などに「えがおポイント」を交付）	100万円
42【拡充】「十二天の森」の保存と活用（用地取得、公園整備ほか）	1億981万円
43【継続】屋外広告物の改善による街並みの整備と景観の創出 （改善補助金ほか）	500万円

## 【5】健康で安心して暮らせるまちづくり

### ①健康長寿のまちづくり

44【拡充】地域包括ケアシステムの推進（下記①～⑤は主な新規拡充事業）	
（1）多様なサービス充実と元気高齢者の活躍の場づくり （介護予防事業、介護支援ボランティア、協議体運営、 地域生活支援コーディネーター配置ほか）	2,369万円
（2）昭和伊南総合病院医療介護連携室に市の介護支援専門員が常駐	317万円
（3）脳卒中再発予防事業	57万円
（4）ケアパス（介護サービスの流れや選択肢をわかりやすく見える化）	36万円
（5）認知症初期集中支援チームの拡充（1チーム→3チーム）	295万円
45【継続】活動量計を用いた「こまがね健康ステーション」事業	98万円
46【継続】地域医療の安定確保に向けた昭和伊南総合病院の経営支援	7億333万円

### ②支え合う福祉のまちづくり

47【継続】子育て世帯や障がい者等の医療費負担軽減支援 （福祉医療費給付金制度）	1億5,730万円
48【継続】障がい者の自立支援（障がい者福祉サービス給付制度）	5億5,000万円
49【拡充】生活維持が困難になるおそれがある方の 自立支援・就労支援等	1,747万円
50【拡充】ひとり親家庭の経済的自立支援（児童扶養手当、高等職 業訓練促進事業ほか）	1億1,710万円
51【拡充】年金生活者等の経済的支援	1億5,700万円
①低所得の65歳以上高齢者及び障害・遺族年金受給者向け給付金	1人3万円
②低所得者向け給付金	1人3千円

## 【6】ともに学び、文化を育むまちづくり

### ①地域文化・芸術を育むまちづくり

- |                             |         |
|-----------------------------|---------|
| 52【拡充】文化会館の演目拡充（開館30周年記念事業） | 1,600万円 |
| 53【新規】光前寺御開帳記念シンポジウム開催      | 9万円     |
| 54【継続】郷土館の保全改修と観光資源としての活用   | 300万円   |

### ②スポーツ振興による健康で心豊かなまちづくり

- |   |         |
|---|---------|
| 55【新規】ふるさとの丘アルプスドームの人工芝グラウンド化整備事業                       | 5,300万円 |
| 56【継続】スポーツ人口の拡大と指導者育成<br>（トップアスリート交流事業、スポーツ指導者資格取得支援ほか） | 179万円   |
| 57【継続】第4回信州駒ヶ根ハーフマラソン大会（9月25日（日））                       |         |
| 市負担金  | 750万円   |

## 【7】市民が主役のまちづくり

- |   |           |
|---|-----------|
| 58【継続】協働のまちづくり事業<br>（こまがね応援団、協働活動支援補助金、市民活動支援センター「ぱとな」運営）                 | 1,697万円   |
| 59【拡充】国際交流・多文化共生<br>（ベネズエラ音楽祭、東京五輪ホストシティタウン構想、ポカラ市友好都市15周年、日本語教室ほか）       | 1,042万円   |
| 60【継続】ふるさと寄附金事業<br>（寄附収入3億円、返礼品費1億3,700万円、寄附金の有効活用と、地元産品の需要拡大による地域活性化の促進） | 4億3,700万円 |

## 【8】少子化対策・定住人口増対策

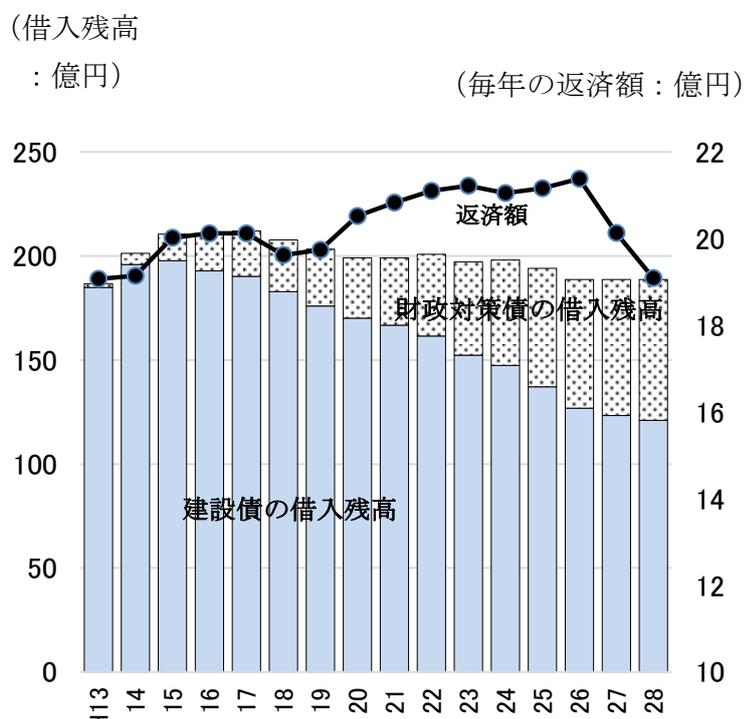
- |   |         |
|---|---------|
| 61【新規】若者住宅取得補助事業（夫婦年齢80歳未満転入世帯の住宅取得費に対する補助ほか） | 1,200万円 |
| 62【拡充】結婚相談・出会い支援事業（結婚相談所運営、婚活イベント交流事業ほか）      | 723万円   |
| 63【新規】女性の復職支援事業                               | 100万円   |
| 64【拡充】移住交流促進事業（UIターン相談員、相談会、体験ツアー、田舎暮らし推進協議会） | 838万円   |

## 【9】行財政効率化・健全財政

- |  |      |
|--|------|
| 65【新規】駒ヶ根市政策研究所（重要テーマ、個別課題などを有識者・市民を交えて政策研究） | 70万円 |
|--|------|

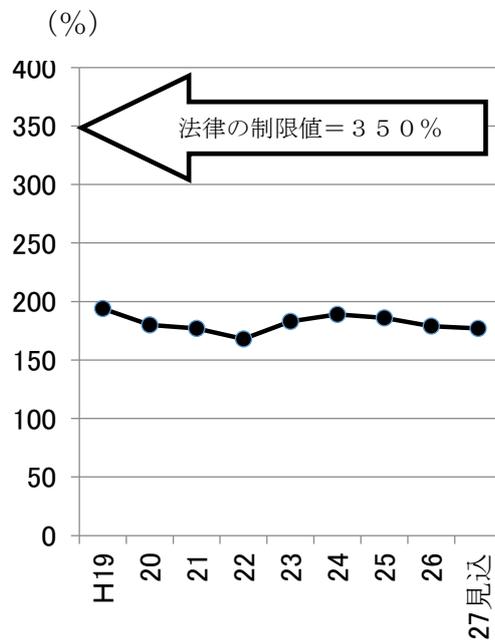
66【継続】市の借入金の計画的な縮減（下図）

一般会計の借入金残高と毎年の返済額



- ①建設債の借入残高はH15の198億円をピークとして以降減少し続け、H28は121億円となる見通し
- ②財政対策債(=実質的に返済負担のない借入金)の残高は年々増加しH28末は68億円となる見通し
- ③毎年の返済額は、H26の21億円をピークとし、H27、H28は各年1億円を超える減少幅

将来負担比率の推移



【将来負担比率】

=負債の財政規模に対する割合

- ①H19は194%、H27は177%程度の見通し(=財政規模の1.8倍程度の負債がある状態)
- ②法律の基準350%の半分程度